

氏名	立 本 昭 彦
学位(専攻分野)	博 士(医 学)
学位授与番号	博 乙 第 2628 号
学位授与の日付	平成 5 年 9 月 30 日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 4 条第 2 項該当)
学位論文題目	LAK 細胞による肝再生の抑制 —ノイラミニダーゼ処理 LAK 細胞による検討—
論文審査委員	教授 辻 孝夫 教授 中山 睿一 教授 清水 信義

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

経静脈的に移入した Lymphokine Activated Killer (LAK) 細胞および neuraminidase treated LAK (N-LAK) 細胞の、肝部分切除後の肝再生に与える影響を検討した。肝部分切除後に、LAK 細胞を 5×10^7 、 1×10^8 個、経静脈移入すると肝再生は投与量依存性に抑制された。LAK 細胞を neuraminidase 処理すると移入後の肝への集積は著しく増加した。そこで、LAK 細胞および N-LAK 細胞を 5×10^7 個投与すると、肝再生は、各々、16.5%、53.8%抑制された。すなわち、LAK 細胞による肝再生の抑制は、その移入量と肝への集積率の増加に応じて強くなった。以上より、LAK 細胞は肝局所において、肝再生を抑制する能力を有するものと推定された。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、LAK 細胞による肝再生の抑制をノイラミニダーゼ処理 LAK 細胞 (N-LAK 細胞) との比較から研究したもので、肝部分切除後に経静脈移入を両者で行うと投与量依存性に再生が抑制され、かつ N-LAK 細胞の方が肝への集積率ならびに再生抑制が 3 倍余り強いという極めて貴重な成績を得ている。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。